

コチャバネセセリ

Thoressa varia

種名



分類	セセリチョウ科												
形態	前翅長 14～19mm。裏面は黄褐色の地色、翅脈は黒褐色、黄白色斑をもつ。翅表は黒褐色、前翅に白色斑がある。はより前翅表の白色斑が大きく、の前翅基部に黄褐色の性標がある。しかし、性標は不明瞭でわかりにくい。春型は縁毛が白色、2回目以降の夏型に縁毛に褐色が混じる。												
分布	北海道(利尻島・礼文島・奥尻島を含む)、本州、四国、九州。分布は広く、平地からの垂高山帯まで見られる。												
出現期	寒冷地では普通年1回の発生、6～8月に出現する。本州以南の暖地では年2回、5～6月と7～9月に現れ、一部3回目が羽化する地域も見られる。おもに終齢(5 齢)幼虫で越冬するが、中齢(3 齢)幼虫で越冬したという報告もある。												
生態	ササの群落が生える樹林、林縁に棲む。かたまって見られることが多い。アザミ類、ヒヨドリバナ、ウツギなどで吸蜜する。は湿地に集まって吸水する。また、動物の糞・排泄物に群がって吸汁するのをよく見る。は林縁などで占有行動をとり、敏速に飛び、地表にもよくとまる。												
食樹	タケ科のチマキザサ、ミヤオザサ、アズマネザサ。まれにイネ科のススキも食べる。												
幼虫 (幼生期)	体長 30mm。頭部は大きく、黒色。胴部は淡い黄緑色、頭部のすぐ後に黒色環がある。老熟すると体色は白色をおびる。ササの葉の先端を巻いたり、折り曲げて巣をつくる。越冬にあたっては、中脈を食い切って巣とともに地上に落下、そのままか、あるいは巣をひきずって適当な場所に移動して冬を越す。翌春、越冬からさめ、巣の中で蛹化する。												
出現時期	(月)	-	-	-	-	-	6	7	8	9	-	-	-
その他													

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ